

# 「指定特定相談支援事業所 みゆき広場」利用契約書

社会福祉法人 喜びの園

(以下「利用者」という。)と社会福祉法人 喜びの園 「指定特定相談支援事業所みゆき広場」(以下「事業者」という。)は、利用者が事業者から提供される指定特定相談支援サービスを受け、それに対する利用料金を支払うことについて、次のとおり契約(以下「本契約」という。)を締結します。

## 第1条 (契約の目的)

本契約は、利用者がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、事業者が利用者に対して必要な障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定特定相談支援サービスを適切に提供することを定めます。

## 第2条 (契約期間)

本契約の契約期間は、令和 年 月 日から令和 年 月 日までとします。

## 第3条 (サービス利用計画の作成)

- 事業者は、相談支援専門員にサービス利用計画の作成に関する業務を担当させるものとします。
- 相談支援専門員は、利用者の居宅を訪問し、利用者及びその家族に面接して利用者及び家族の置かれている状況、利用者が希望する生活、解決すべき課題等を把握します。
- 相談支援専門員は、サービス利用計画の作成の開始にあたっては、当該地域における指定障害福祉サービス事業者等に関するサービスの内容、利用料等の情報を適正に利用者又はその家族に対して提供して、利用者にサービスの選択を求めるものとします。
- 相談支援専門員は、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービス(以下、「福祉サービス等」という。)が、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるように配慮します。
- 相談支援専門員は、提供される福祉サービス等の目標及びその達成時期、福祉サービス等の種類、内容、量及び利用料並びに福祉サービス等を提供する上での留意事項等を記載したサービス利用計画の原案を作成します。
- 相談支援専門員は、前項で作成したサービス利用計画の原案に盛り込んだ福祉サービス等について、介護給付費等の対象となるか否かを区分した上で、当該サービス利用計画書の原案の内容について、利用者及びその家族に対して説明し、利用者の同意を得た上で決定するものとします。

## 第4条 (サービス利用計画作成後の便宜の供与)

事業者は、サービス利用計画作成後において、次の各号に定める指定特定相談支援サービスを提供するものとします。

- 利用者及びその家族などと6ヶ月に1回以上面接し、経過を把握します。
- サービス利用計画の目標に沿ってサービスが提供されるよう、福祉サービス等の事

業者等との連絡調整を行います。

三 指定障害者福祉サービス等の利用者負担額合計額を毎月算定し、利用者及び当該障害福祉サービス等を提供した事業者等に通知します。

四 福祉サービス等の実施状況や利用者の状況について定期的に再評価を行い、サービス利用計画の変更、支給決定の更新申請等に必要な援助を行います。

#### 第5条 (サービス利用計画の変更)

利用者がサービス利用計画の変更を希望した場合、または事業者がサービス利用計画の変更が必要と判断した場合は、事業者と利用者双方の合意に基づき、サービス利用計画を変更します。

#### 第6条 (障害者支援施設への紹介)

事業者は、利用者が居宅において日常生活を営むことが困難となったと認められる場合又は利用者が障害者支援施設等への入院又は入所を希望する場合には、障害者支援施設等への紹介その他の便宜の提供を行うものとします。

#### 第7条 (利用者負担額及び実費負担額)

1 事業者の提供する指定特定相談支援サービスに関する利用料金について、事業者が法律の規定に基づいて、市町村からサービス利用料金に相当する給付を受領する場合(法定代理受領)は、利用者の自己負担はありません。

但し、事業者が介護給付費額の代理受領を行わない場合は、重要事項説明書に定める金額を事業者に対し、いったん支払うものとします。

2 前項の他、利用者は、通常の事業の実施地域以外の地域の居宅への訪問を受けて指定特定相談支援サービスの提供を受ける場合には、交通費実費相当額を事業者に支払うものとします。

3 前項の実費負担額は、1ヵ月ごとに計算し、利用者はこれを翌月末日までに支払います。

#### 第8条 (事業者の基本的義務)

1 利用者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な指定特定相談支援サービスを適切に行います。

2 事業者は、利用者の意思と人格を尊重し、常に利用者の立場にたって、指定相談支援サービスを提供します。

#### 第9条 (事業者の具体的義務)

1 (安全配慮義務) 事業者は、指定特定相談支援サービスの提供にあたって、利用者の生命、身体、財産の安全・確保に配慮します。

2 (説明義務) 事業者は、本契約に基づく内容について、利用者の質問等に対して適切に説明します。

3 (守秘義務) 事業者及び相談支援専門員は、本契約による指定特定相談支援サービスを提供するにあたって知り得た利用者や家族等の秘密について、正当な理由がある場合を除き第三者に開示することはありません。

4 (記録保存整備義務) 事業者は、指定特定相談支援サービスの提供に関する記録を整備し、提供日から5年間保存します。事業者の窓口業務時間(祝祭日を除く毎週月曜日

～金曜日の法人の定める日8時20分～17時20分)に自分の記録を見ることができますし、実費を負担してコピーすることができます。

## 第10条 (事故と損害賠償)

- 1 事業者は、指定特定相談支援サービスの提供によって事故が生じた場合には、速やかに都道府県、市町村・利用者の家族等に連絡して必要な措置を講じます。
- 2 事業者は、指定特定相談支援サービスを提供するにあたって、事業者の責任と認められる事由によって利用者に損害を与えた場合には、速やかに利用者の損害を賠償します。

## 第11条 (契約の終了事由)

本契約は、以下の各号に基づく契約の終了が生じた場合に終了するものとします。

- 一 利用者が死亡した場合
- 二 事業者が解散命令を受けた場合、破産した場合又はやむを得ない事由により事業所を閉鎖した場合
- 三 事業者が指定を取り消された場合又は指定を辞退した場合
- 四 第12条から第14条に基づき本契約が解約又は解除された場合
- 五 第2条の契約期間が満了した場合(ただし満了前に契約更新の手続きがとられた場合は除く)

## 第12条 (利用者からの中途解約)

利用者は、本契約の有効期間中、本契約を解約することができます。この場合には、利用者は契約終了を希望する日の3日前までに事業者へ通知するものとします。ただし、利用者が入院した場合等、正当な理由がある場合には即時に解約することができます。

## 第13条 (利用者からの契約解除)

利用者は、事業者もしくは相談支援専門員が以下の事項に該当する行為を行った場合には、ただちに本契約を解除することができます。

- 一 事業者もしくは相談支援専門員が正当な理由なく本契約に定める相談支援を実施しない場合
- 二 事業者もしくは相談支援専門員が第9条1項から4項に定める義務に違反した場合
- 三 事業者もしくは相談支援専門員が故意又は過失により利用者もしくはその家族等の生命・身体・財物・信用を傷つけることなどによって、本契約を継続しがたい重大な事情が認められる場合

## 第14条 (事業者からの契約解除)

事業者は、利用者が以下の事項に該当する場合には本契約を解除することができます。

- 一 利用者が、故意又は重大な過失により事業者もしくは相談支援専門員の生命・身体・財物・信用を傷つけることなどによって、本契約を継続しがたい重大な事情を生じさせ、その状況の改善が見込めない場合
- 二 利用者が通常の実施地域外に転居した場合

## 第15条 (苦情解決)

- 1 利用者は、本契約に基づく指定特定相談支援サービスに関して、いつでも重要事項

説明書に記載されている苦情受付窓口<sup>くじょううけつけまどぐち</sup>に苦情<sup>くじょう</sup>を申し立て<sup>もう た</sup>ることができます。

2 利用者は、本契約<sup>ほんけいやく</sup>に基づく指定<sup>ししていとくてい</sup>特定<sup>そうだんしえん</sup>相談支援サービス<sup>かん</sup>に関して、重要事項<sup>じゅうようじこう</sup>説明書<sup>せつめいしょ</sup>に記載<sup>きさい</sup>され

た第三者委員<sup>だいさんしゃいいん</sup>に苦情<sup>くじょう</sup>を申し立て<sup>もう た</sup>することもできますし、運営適正化委員会<sup>うんえいてきせいはいいいんかい</sup>に苦情<sup>くじょう</sup>を申し立て<sup>もう た</sup>することもできます。

## 第16条 (虐待の防止)

1 事業者<sup>じぎょうしゃ</sup>は、虐待<sup>ぎゃくたい</sup>の防止<sup>ぼうし</sup>のための体制<sup>たいせい</sup>を整備<sup>せいび</sup>し、利用者<sup>りようしゃ</sup>に対する虐待防止<sup>ぎゃくたいぼうし</sup>に努め<sup>つと</sup>ます。事業者<sup>じぎょうしゃ</sup>は、職員<sup>しよくいん</sup>に対する虐待防止<sup>ぎゃくたいぼうし</sup>を啓発<sup>けいはつ</sup>するための研修<sup>けんしゅう</sup>を定期的<sup>ていきてき</sup>に実施<sup>じっし</sup>し、常に利用者<sup>りようしゃ</sup>の心身<sup>しんしん</sup>の状況<sup>じょうきょう</sup>、健康状態<sup>けんこうじょうたい</sup>を把握<sup>はあく</sup>し、利用者<sup>りようしゃ</sup>の権利擁護<sup>けんりようご</sup>に努め<sup>つと</sup>ます。

2 事業者<sup>じぎょうしゃ</sup>は、利用者<sup>りようしゃ</sup>及び地域住民<sup>ちいきじゅうみん</sup>に対し、虐待<sup>ぎゃくたい</sup>の存在<sup>そんざい</sup>をいち早く<sup>はや</sup>発見<sup>はっけん</sup>し通報<sup>つうほう</sup>を受けるため相談窓口<sup>そうだんまどぐち</sup>を明らかに<sup>あき</sup>し、その迅速<sup>じんそく</sup>な解決<sup>かいけつ</sup>に努め<sup>つと</sup>ます。

## 第17条 (協議事項)

本契約<sup>ほんけいやく</sup>に定められていない事項<sup>じこう</sup>について問題<sup>もんだい</sup>が生じた場合<sup>しょう</sup>には、事業者<sup>じぎょうしゃ</sup>は障害者<sup>しょうがいしゃ</sup>の日常生活<sup>にちじょうせいかつ</sup>及び社会生活<sup>しゃかいせいかつ</sup>を総合的<sup>そうごうてき</sup>に支援<sup>しえん</sup>するための法律<sup>ほうりつ</sup>その他諸法令<sup>たしよほうれい</sup>の定めるところ<sup>さだ</sup>に従<sup>したが</sup>い、利用者<sup>りようしゃ</sup>と誠意<sup>せいい</sup>をもって協議<sup>きょうぎ</sup>するものとします。

上記<sup>じょうき</sup>の契約<sup>けいやく</sup>を証<sup>しょう</sup>するため、本書<sup>ほんしょ</sup>2通<sup>つう</sup>を作成<sup>さくせい</sup>し、利用者<sup>りようしゃ</sup>、事業者<sup>じぎょうしゃ</sup>が記名捺印<sup>きめいなついでん</sup>のうえ、各1通<sup>かく つう</sup>を保有<sup>ほゆう</sup>するものとします。

令和 年 月 日

利用者 住所

氏名

印

代理人 住所

氏名

印

事業者 住所

〒720-0002

広島県福山市御幸町下岩成 248-1

事業者名 指定特定相談支援事業所 みゆき広場

代表者氏名 理事長 生藤 章 洋 ④